

カンナには食べられる種類もあります。

< 植物名 >

カンナ
スタンダード
オレンジ
水やり

土の表面が乾いたら適度な水やりを。乾燥と過湿に注意する。花後は水やりを中止する。

置き場所

戸外の日当たりの良い場所に置く

用土肥料

地植えなら肥料はあまり必要ない。鉢植えでは元肥を施し、生長に従って追肥を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え

学名 Canna

英名

属名 タンドク

科名 カンナ

性状(分類) 球根植物、多年草

原産地 熱帯アメリカ

花の色 オレンジ

開花期 夏～秋

購入時期

草丈 60～100 cm

ID 829

季節 夏 秋

JFコード 24851



冬越しと置き場所

熱帯原産の植物なので暑さに強く、日当たりを好む。戸外の日当たりの良い場所に置く。葉が枯れて霜が降り始める頃には球根を掘り上げ、ピートモスなどで包みビニール袋に入れて室内で保存する。

その他の解説

地植えなら肥料はあまり必要ない。鉢植えでは元肥を施し、生長に従って追肥を与える。ただし与え過ぎると、葉ばかり茂り花が咲かないので注意する。植え付けは、暖かくなり霜が降りなくなつてからに行つう。

特徴1

日本の南西諸島では野生化したカンナが見られる。土の表面が乾いたら適度な水やりを。極端な乾燥を嫌うが、過湿も苦手で根腐れを起こしやすいので注意する。花後は水やりを中止する。

特徴2

鮮やかな花と大きな葉の組み合わせが、ダイナミックで南国風。日本へは江戸時代の初めに渡来し、南西諸島では野生化している。観賞用と根茎が食べられる食用のカンナがある。花色は赤、黄、オレンジ、斑入りなどがあり、どれも鮮やか。葉も緑のほかには銅赤色、斑入りのものがあり美しい。